

令和6年度

学校経営方針

姫路市立城北小学校

学校教育目標

学ぶことを喜びとし、人間としての真の豊かさと
心身のたくましさを求め続ける子どもの育成

城北っ子～めざす子ども像～

- 心身の健康を求め、がんばり抜く子
- 自他を大切にし、共に生きようとする子
- 成長への見通しをもち、自ら学ぼうとする子

じょうぶなからだ
ほほえみいっぱい
くふうがいっぱい

正しく、強く、しなやかな軸を持つ城北っ子

学校経営の理念

「地域力」に支えられた組織的な「学校力」により、「教師力」を高め、
めざす児童を育てるため、学校教育目標の具現化に取り組む

地域力

- ◎次代を担う子どもたちを育てようとする地域
- ・見守る温かい眼差し
- ・教育活動への支援
- ・地域との絆を活かす場

学校力

- ◎安全・安心でワクワクドキドキできる学校
- ・優しい、温かい、さわやかな空気に包まれた学校に
- ・子どもたちの居場所
- ・家庭、地域への発信

教師力

- ◎教職員は、子どもにとって生き方のロールモデル
- ・学び続ける教師
- ・ユーモアのある教師
- ・授業へのこだわり

1 特別活動の推進

“特別活動”を学校経営の基盤に！ 特別活動の力を最大限活用！
特別活動の力、特別活動の手法を最大限活用し、
児童と教師との信頼関係づくり・児童同士の人間関係づくりに取り組む

2 小中一貫教育の推進

“適時性”と“連続性”を重視した“つながり”のある教育を目指して
豊かな人間性を育み、「確かな学力」の向上を図る
～“ねらい”に立脚した実践とブランドカリキュラム“を踏まえた授業づくり～

1 OneTeam 城北での実践・取組

- ◎一人一人では、みんな弱い人間だからこそ、「OneTeam 城北」で！授業も行事も生徒指導もチームで取り組む。
- 「若手⇄中堅⇄ベテラン」の支え合い励まし合い⇒組織力で勝負

2 豊かな心の涵養

- ◎体罰・暴言・威圧的な指導・意地悪な指導とは、訣別する。
- 異学年交流（いきいきタイム）の充実⇒6年生の成長や自信に
- 人権、生命の尊重、差別の未然防止

3 確かな学力の向上

- ◎「対話的な学び」を実現するために課題設定・説明方法・協働した課題解決にこだわる。
- ベテランと中堅・若手の協働体制の構築⇒若手のスキルアップ、ICTスキルの向上

4 開かれた学校づくり

- ◎家庭や地域との連携を密にし、開かれた学校づくりを積極的に推進する。
- 地域人材の効果的な活用
- 学校通信（ポプラ・つなぐ）、メール、HPによる積極的な情報発信

5 教員研修の活性化

- ◎校内研修の充実「自分発・みんな経由・自分行き」の授業づくり⇒対話・振り返り場面の研究
- 教職員の学ぶ機会の推奨
- 研修へ主体的に参加できる手立て

6 働き方改革の推進

- ◎教職員の本気の取組で、生徒指導上の問題を減少させ、働き方改革につなげる。
- 互いに感謝「すみません」より「ありがとう」
- チームで教材研究、授業改善